

提出順	15	発言順	15	令和 3 年 11 月 24 日
				(午前) 午後 11 時 43 分受領

(2 枚中 No. 1)

令和 3 年 11 月 24 日

安曇野市議会議長 平林 明 様

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input checked="" type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	廃棄物処理法に基づく立入検査について		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

増田建設産業 (廃棄物処理施設) の汚水が下水道に流れず地下浸透している恐れがあるため、市は令和3年2月から3月にかけて排水設備の調査を行った。しかし、この調査は廃棄物処理法に基づく立入検査として行われたに於ては非常に杜撰なものであり、廃棄物処理行政としての市の責任が問われる状況である。

そこで、以下に質問する。

- 1、令和3年2月から3月にかけて、市や県は、増田建設産業 (廃棄物処理施設) の排水設備調査をどのように実施したか
- 2、増田建設産業 (廃棄物処理施設) の排水設備調査の結果から、異状がないと判断した理由について
- 3、再調査の必要性について

提出順	15	発言順	15	令和3年11月24日
				午前・午後 11 時 43分受領

(2枚中No.2)

令和3年11月24日

安曇野市議会議長 平林 明 様

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和3年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input checked="" type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	安曇野の「優れた水環境」を次の世代に受け継ぐために		
質問の要旨（具体的に記載してください） 「豊富で良質な地下水は安曇野の暮らしに密接に結びつき、水道水源は100%地下水でまかなわれている。また清冽な水と澄んだ空気が、特産のお米やそば、りんご、わさび、たまねぎ、信州サーモン、ワイン等を育てている」これは、平成27年、環境省の名水百選に選ばれた時の「安曇野わさび田湧水群」の紹介文である。それから6年をへて、この安曇野わさび田湧水群の源となる安曇野の地下水は、水量、水質の両面で憂慮すべき状況が急速に進行している。 そこで、以下に質問する。 <ol style="list-style-type: none"> 1、地下水、井戸、水道水等の水質検査から見えてくる安曇野市の地下水の現状から、特に地下水の水質についての認識と地下水汚染防止の取り組みの必要性について 2、平成23年に行った地下水の水質調査によれば、硝酸態窒素の増加の原因は化学肥料由来によるものが多いとされていることから、地下水汚染防止の取り組みとして環境保全型農業や有機農業への転換を進める必要があるのではないか 3、学校給食等で有機食材を利用するなど、有機農産物の公共調達を進めることから環境保全型農業や有機農業への転換につなげてはどうか 			